

無所属



輝く明日の平塚を見据えて

白井 照人 議員

問 びわ青少年の家の利用対象者を広げ、市内の青少年団体や育成関係者に加えて市内外の家族連れやグループの利用が可能となったが、これまでの利用団体などへの配慮と現在のニーズとの乖離をどのように考えているのか伺う。

健康・こども部長 青少年健全育成のために活動してきた市内青少年育成団体は継続的に利用してもらえよう、優先的に予約ができるようにする。現状は団体での利用施設として整備運営しており、家族連れや少人数利用のニーズに応えられていないため、今回、少人数グループでの利用を可能にした。

問 9月補正予算に計上されている内容を伺う。

健康・こども部長 野外トイレの改修や施設内の一部舗装に向けた測量、設計のほか、野外調理場照明のLED化など快適性や衛生環境、利便性の向上を図るものである。

問 Wi-Fiの設置や、携帯電話などの通信環境の改善に向けた考えを伺う。

健康・こども部長 各通信回線事業者と相談し、対応について検討したい。

問 利用者が炊事場内のかまどの周りで食事をする姿を見かける。野外テابل周辺の整備の必要性を感じるが見解を伺う。

健康・こども部長 今までは一団体が利用する想定だったが、今後は複数の団体が利用することになるため、利用のルールや野外テابلの整備も含め、計画を詰めていきたい。

問 びわ青少年の家の魅力アップ整備計画を立てて整備を進めるべきだと考えるが見解を伺う。

健康・こども部長 利用者の目線を大事にし、多くの人の交流の場となるよう計画を立てていきたい。

過去に発行した議会だより

市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧いただけます。



「マチイロ」

アプリ「マチイロ」にひらつか議会だよりを掲載しています。



幼児教育の行方は

問 ひばり幼稚園と南原保育園が統合され、民設民営の認定こども園が開園するが、本市の架け橋プログラムの理念やビジョンを伺う。

健康・こども部長 幼・保・小の枠組みを超え、計画的、継続的に連携を進めていけるよう、教職員が幼児や児童の生活や学びについて相互理解を深め、育て



青少年会館と勤労会館が教育会館へ統合、市民の声は

佐藤 由美子 議員

問 3館統合後は集客機能のみの施設になる予定である。現在の利用団体が自由にならないよう、教育会館に美術室や会議室兼音楽室を用意し、空手やダンス、陶芸などを行えるようにするのか伺う。

健康・こども部長 会議以外を目的とする場合は、他の施設を使用してもらう。諸活動団体には他の施設への利用案内を行っており、今後も丁寧な情報発信を行っていく。

問 体育館は災害発生時の避難所としても利用されるが、避難時の寒さによる関連死の事例があることや夏場は熱中症や感染症のリス

市内中学校体育館のエアコン設置のエアコン設置

まちはまちづくり政策部長 まちづくり条例の規定を口頭で事業者の説明し、規定に則した手続きをするように指導した。

たい力や指導上の配慮指導計画などについて協議できる場を作っていきたい。

問 公立・私立を問わず、全ての幼・保・こども園の連携を強化し、幼児教育の質を向上させるため、教育委員会主導で幼児教育センターを設置すべきと考えるがいかがか。

学校教育部長 幼児教育の内容、指導方法などに関する調査研究、保育教諭に関する相談業務などを研究している。先行自治体の事例などを見ながら本市の実情を踏まえて研究を進めていきたいと考えている。

なぎさプロムナードに葬儀場建設予定

問 平塚市まちづくり条例で定められている住民説明会後に、一部住民に対し不当な行為があったと聞いている。事業者が丁寧な説明をするよう指導をしていくとのことだが、どのような指導を行ったのか伺う。

まちづくり政策部長 まちづくり条例の規定を口頭で事業者の説明し、規定に則した手続きをするように指導した。

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

教育民生

議案3案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第59号 平塚市立の学校の設置に関する条例の一部を改正する条例

問 市立幼稚園を廃止するために条例を改正するものだが、市立幼稚園は配慮を必要とする子どもを含めたインクルーシブな幼稚園だと認識している。幼児期におけるインクルーシブ教育について、本市の考え方を伺う。

答 インクルーシブ教育についてだが、本市では全ての子どもができるだけ共に学び共に育つという共生社会に向けた教育の実現に向けて取り組んでいる。

○議案第67号 令和6年度平塚市一般会計補正予算

問 中学校特別教室・教育相談室空調機賃借料について、中学校は市内に15校あると思うが、今回購入ではなくリースにした理由と、国や県の補助金が出るのか伺う。また、期間が12年間と長いが、なぜこんなに長期間なのか伺う。

答 購入とリースを比較検討し、維持管理も含めて安価であったことと、短期間での設置が可能であることからリース方式を選んだ。リース方式は補助の対象とならないが、コストの比較検討をした中で、若干ではあるがリースのほうがコスト的なメリットがあることを加味したうえで選んでいる。リースの期間は12年間だが、実質は120か月で10年間となり、今の予定では令和7年9月から令和17年8月末までとなる。

問 中央図書館改修設計業務委託料について、中央図書館が休館するのは令和8年度から9年度の2か年である。この間は図書館利用者はどうしたらよいのか。図書館は本の貸出しだけでなく、児童生徒や受験生などが学習の場として利用している。休館期間に代替場所などを考えているのか伺う。

答 休館中の利用者対応だが、休館中は臨時窓口の設置を予定しており、併せて地区図書館の利用を促していきたいと考えている。児童生徒や受験生などの学習の場所についても同様に、休館中は地区図書館の利用を案内していく。

環境厚生

議案8案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第61号 平塚市七国荘の設置及び管理等に関する条例を廃止する条例

問 この条例は七国荘の廃止についての条例だが、来年4月1日以降の所管課を伺う。

答 4月1日以降の所管課は、どこが使用していくのかを現在庁内で調整中であり、現段階では確定していないが、令和6年度中は福祉部が所管していく。

問 七国荘の廃止について、市民から提言や意見があったのではないかと想像するが、なぜこの意見が開示されていないのか伺う。

答 「福祉会館等のあり方見直し(案)」から意見を基に改正した箇所があり、現在ホームページで「福祉会館等のあり方見直し」の確定版が見られるようになっている。

○議案第67号 令和6年度平塚市一般会計補正予算

問 社会福祉総務費のなぎさふれあいセンター改修事業について、

どのような改修を行うのか伺う。

答 設置から30年ほどが経ち、施設の長寿命化を考えるなかでの大規模改修が入り口である。多額の経費がかかるものは、例えば空調などの更新や変電設備などの機械設備で、ソフト面というよりも建物の機能そのものの改修が多くある。そのほか間取りの変更、床や壁の張り替えを進めることで合計13億円の継続費を計上している。

問 予防費の予防接種事業について、ワクチンの詳細を伺う。

答 今回の新型コロナワクチンについては、高齢者の重症化予防を対象としたワクチンとなるため、65歳以上の人を対象としたものとなる。また、60歳から65歳未満の基礎疾患がある人も対象になる。使用するワクチンについては、国で薬事承認が行われており、予定としてはファイザー、モデルナ、ノババックス、第一三共、Meiji Seikaファルマの5種類が認定される予定である。このワクチンについては医療機関が購入することになっており、各医療機関で接種をしてもらうこととなっている。